

●福祉 健康で活力ある 福祉社会を

社会福祉 急速に進む人口の高齢化、人々の健康に対する関心は高まり、求められる福祉サービスはさまざまに増えています。望ましい福祉社会は、人が人として尊重される社会でなければなりません。なかでも、お年寄りや子ども、母子家庭、父子家庭など、社会的に弱い立場にいる人々には、温かい手をさしのべなければなりません。今年もホームヘルパー派遣事業や重度心身者医療助成、老人クラブなど各種団体助成など社会福祉対策をさらに強化します。

社協を さらに、真に住みよい福祉社会づくりを進めるため、村では、昨

年十月に「社会福祉協議会」の法人化をはかり、全村民参加による、福祉社会づくりを努めてきました。今年度は、昨年採用した推進員（専門職）により、合同慰霊祭、心配ごと相談、福祉団体事務などを協議会へ移管し、健康で活力ある福祉社会の実現を目指します。

施設整備 温泉の楽しめる、老人憩の家、静閑荘」にエアコンの増設やテレビ購入をはじめ、一千五百三万円を計上。三条、燕・西浦・南浦広域老人ホーム建設などに補助金を。また、中央保育園の保育室改修（床張り替え、塗装）、間瀬保育園の土留め壁工事などを行います。

●その他
**合併25周年を
多彩な行事で**

▽昭和62年2月1日の統合、目標に向け、村内の農協合併促進費として30万円を計上。
▽新村合併25周年を迎え、記念式典をはじめ、全村民が楽しく参加できる多彩な記念行事を計画しています。

施設整備

新築なりました間瀬地区
公民館は、一千地区民の期待を担って今日オープン。スタッフとして非常勤公民館長、公民館職員、用務員の三名でスタートします。（詳細は六〇七頁を参照）。

このほか、東体育館（旧役場協体育館）の屋根改修、野球ナイター施設整備、文化財スライド作成などを行います。



●教育・スポーツ 地域活動のシンボル 間瀬地区公民館 きょう、オープン

青少年対策 学校、家庭、社会、関係機関が一体となって健全育成事業を続けるほか、子ども会指導者養成専門講座、青年ふれあい広場、青年県外研修派遣事業を実施。今年度は国際青年年でもあり、青年団体リーダー研修会参加助成や地域子ども会育成助成など、青少年の活力を高め、社会参加を強く推進します。

教育の充実 教育環境のよし悪しが人間形成に重要な役割を果たしていることは、言うまでもありません。二十一世紀の社会を担う子どもたちが心身ともに健康で、知・徳・体の調和のとれた創造力ある心豊かな人間に育てることとは、みんなの願いです。

人口増加、都市化の進行するなかで、本村は教育の充実を村政の重要課題とし、予算総額の一〇％強、一億八千七百八十六万円を教育費に当て、教育内容の向上に努めています。

また、施設関係では岩室小学校、間瀬小学校の屋根改修や和納小学校の教室改修（壁ベニヤ張り替え）などを行います。このほか、岩室中学校の教室内の照明設備の増設をします。

●衛生

ライフステージ ごとの健康管理 肺ガン検診を実施

健康づくり 健康―わたしたちにとつてかけがえのないものです。

みなさんの健康づくりのため新たに、肺ガン検診を実施します。また、壮年期からの健康管理を積極的に進めるため総合検診をはじめ、胃ガン、子宮ガン、糖尿病検診を継続。人間ドック助成も百五十人分、百四十万円を計上、年齢制限の拡大も考慮しています。



さらに、地域に密着した保健・医療活動を推進するため、きめ細かい検診、勉強会、健康相談会を展開します。

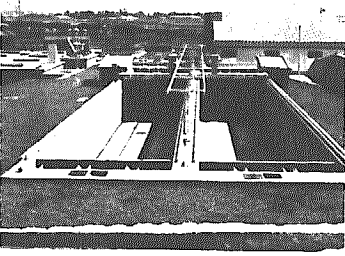
環境づくり

住みよい環境づくり 住みよい環境づくりのため、ごみの収集委託料として、一千九百四十万円を計上したほか、衛生組合のごみ焼却場、埋立地などの施設整備と合わせ、よりよい環境づくりを進めます。

●建設・企業

消雪パイプを新設

給水開始は6月末
上水道



村道整備 村民のみならず、最も要望の多いのが、村道整備です。今年も生活基盤道路の整備に、一億二千万円余りを投じます。これにより、村道舗装は約八十六キロ、九〇％、村道改良は六十一キロ、六四％に達します。

消雪パイプ また、積雪で五十九年を大きく上回った60豪雪でしたが、懸命な除雪努力にも限界があります。このため、今年度は公共事業で和納地区に消雪パイプ布設事業を行い、井戸の掘さくをはじめ側溝の整備を実施、冬期間の交通を確保します。

国土調査

五十九年度は残務整理の関係で、一年間実施を見送っていましたが、今年度は西船越、新谷地区を重点に実施します。

上水道

安定した水の供給を目指して、昭和五十八年度から年次計画で、整備を行ってきた水道第二次拡張工事による新浄水場建設。今年度は最終年度を迎えて、配水管布設工事を行います。これにより新浄水場からの給水は、六月末になる予定です。

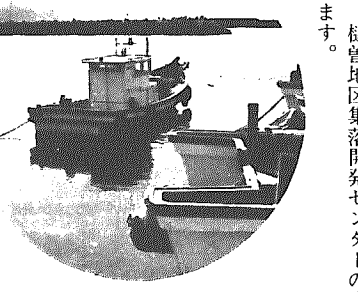
●農林水産

高生産農業の展開

農業振興 農村総合整備モデル事業は、国の予算配分のきびしい中で、五千六百万円の補助を見込み、総額八千万円の事業費で、岩室、西船越、和納十一区などで集落道の整備をするほか、石瀬、和納地区などで排水路の改修を行います。

また、第三期の三年目を迎えた水田利用再編対策は目標（一七三・八畝）達成に向けて、転作団地化の推進などに一千五百四十七万円を計上。さらに「農業祭」「園芸産地拡大振興」「基礎牛育成」助成など園芸・畜産の振興策とあわせて、良質米を軸とした複合営農を展開します。

そして、農村地域における社会生活の充実を図



資源培養型漁業へ 林業生産基盤の整備

水産業 継続事業の間瀬漁港の整備を今年も進めるほか、新潟西浦救難施設整備とくまへび放流にそれぞれ補助し、沿岸漁業の振興と近代化を図ります。

林業 林道整備は、村民歩け歩け大会のコースでもおなじみの岩室金池線をはじめ、角海線（樋曾）、石瀬峠線の整備に三千七百万円余りを計上。また、特用林産物等生産施設整備事業の一環で進めている「しいたけ発生舎」を新設します。

●商工・観光

●新しい観光窓口―商工観光課を新設

あずま屋とベンチを...
先月十四日、上越新幹線が上野乗り入れとなりました。高速交通時代とともに観光「岩室」も乗り遅れないよう、新しく商工観光課を設置。窓口として積極的に取り組みます。また、身近な憩いの場として開設以来、好評をいただいている丸小山運動広場。今年さらにみなさんが楽しめるようにと、芝張り

とフェンスを設置します。さらに海岸保全観光レクリエーション施設として、間瀬・羽入地内（弥彦浦遊歩道内）にあずま屋とベンチを設置します。この夏、大いにご利用ください。

の八千百万円余りを投じます。まず商工業の振興、とりわけ中小企業対策として、産業育成資金の預託を七百万円増額し、県分と合わせて五千円とし、一層の充実を図りました。

商工業振興 中小企業をとりまく経済環境は、打ち続く景気の低迷により厳しい状況にあります。そのため、中小企業振興対策に本年度は前年比七二増

また、雇用の場の確保と併せて、昨年造成した和納古川原工業団地を中心に工場誘致を図るため、新たに工場誘致条例に伴う奨励金を計上しました。